

# 卒業生の進路

## テータ編

3年分の文学部卒業生の進路内訳を紹介

## インタビュー編

文学部に入学した理由や、文学部での  
学びと社会とのつながりなど、  
卒業生のリアルな声をお届け！

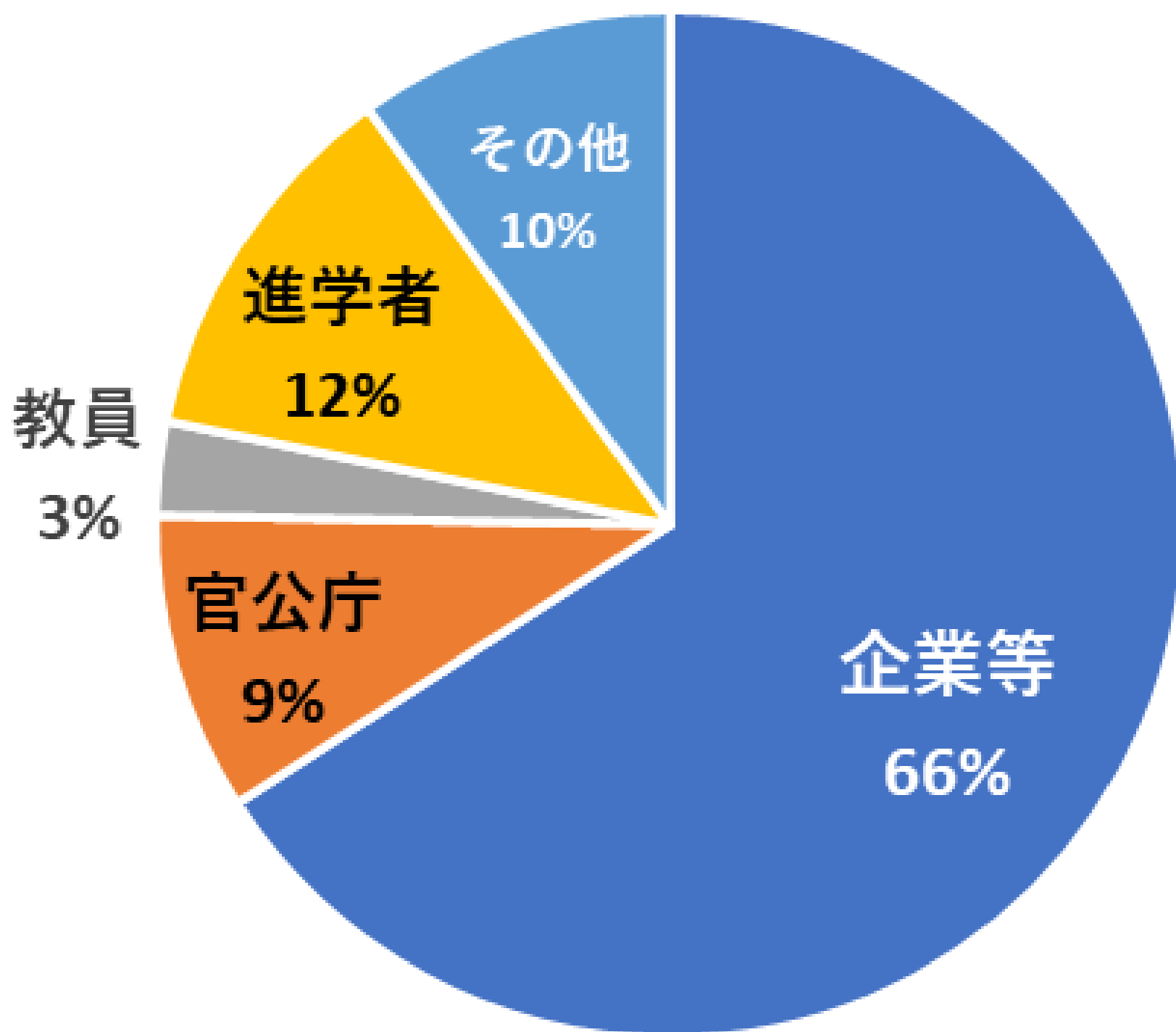
進路に関する  
疑問を解決！



# 文学部卒業生の進路内訳

2024年度

卒業生数 170名

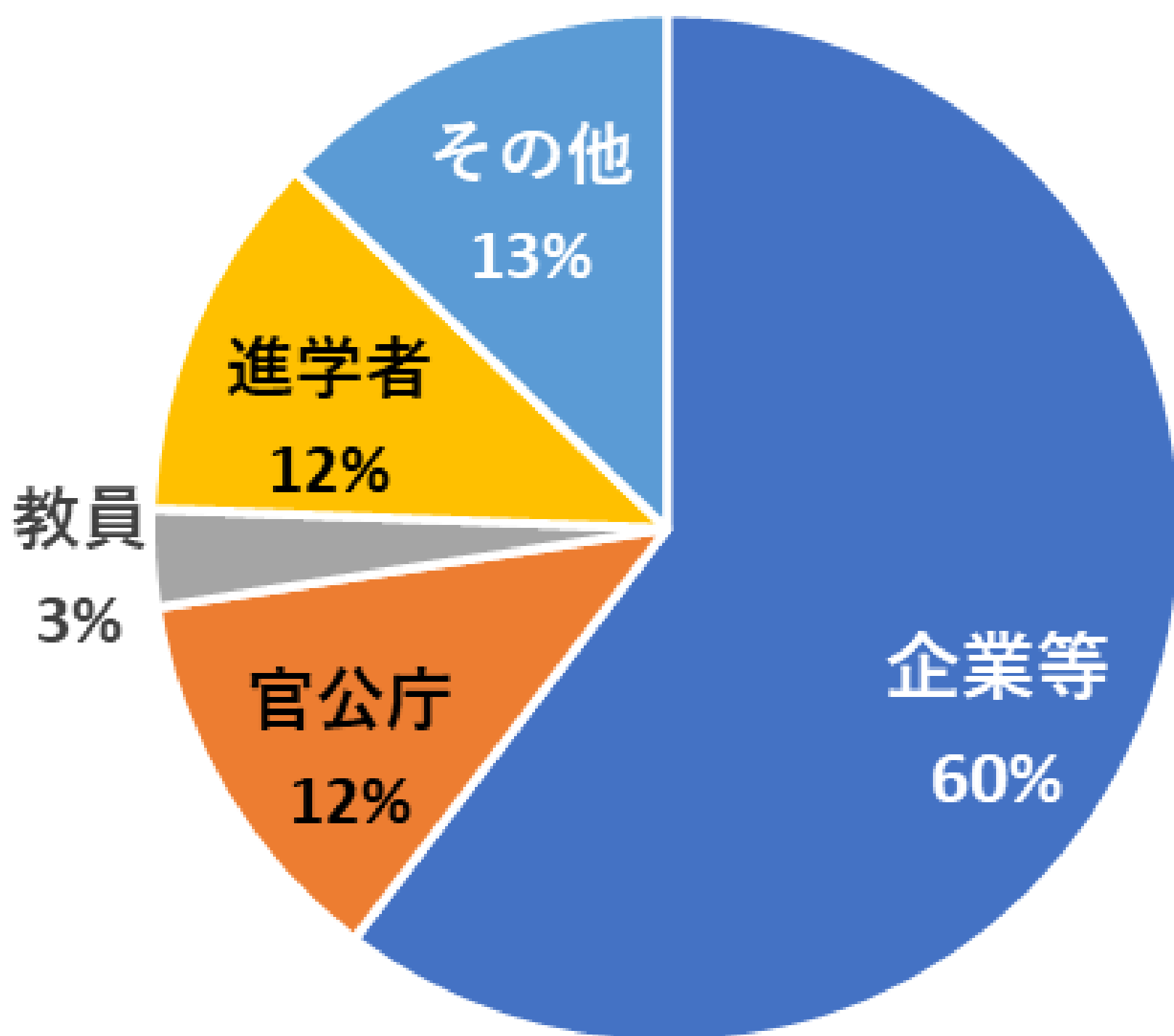


■ 企業等 ■ 官公庁 ■ 教員 ■ 進学者 ■ その他

# 文学部卒業生の進路内訳

2023年度

卒業生数 164名

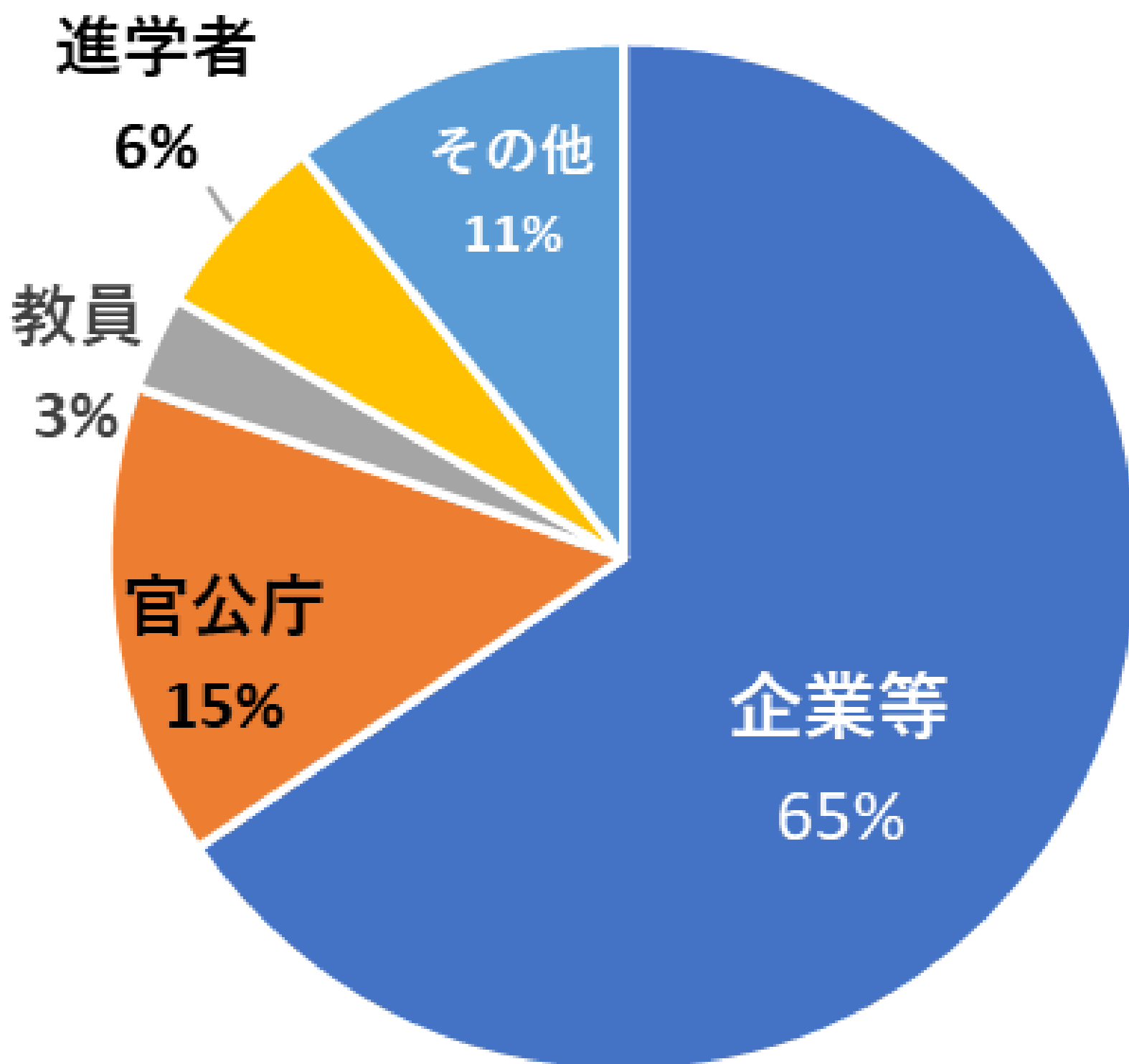


■ 企業等 ■ 官公庁 ■ 教員 ■ 進学者 ■ その他

# 文学部卒業生の進路内訳

2022年度

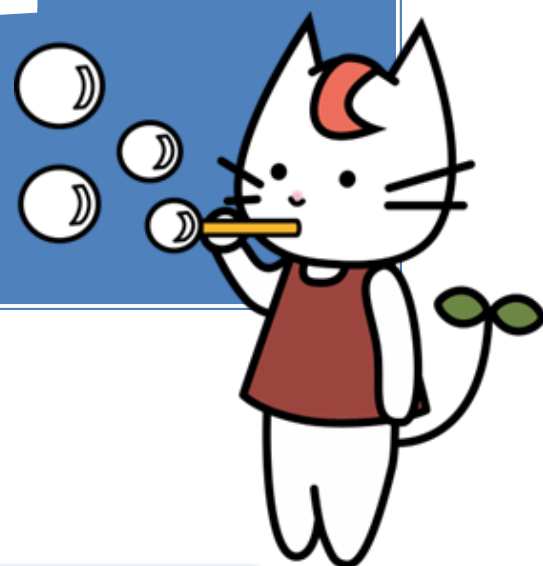
卒業生数 168名



■ 企業等 ■ 官公庁 ■ 教員 ■ 進学者 ■ その他

業種別人数と割合	2024年度		2023年度		2022年度	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
農業、林業	1	1%	0	0%	0	0%
漁業	0	0%	0	0%	0	0%
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0%	0	0%	0	0%
建設業	3	2%	2	2%	3	2%
製造業	14	11%	14	11%	18	13%
電気・ガス・熱供給・水道業	1	1%	2	2%	0	0%
情報通信業	33	25%	17	14%	25	18%
運輸業、郵便業	5	4%	2	2%	3	2%
卸売業、小売業	17	13%	17	14%	16	11%
金融業、保険業	5	4%	10	8%	9	6%
不動産業、物品賃貸業	8	6%	3	2%	10	7%
学術研究、専門・技術サービス業	9	7%	10	8%	8	6%
宿泊業、飲食サービス業	1	1%	2	2%	2	1%
生活関連サービス業、娯楽業	3	2%	5	4%	1	1%
教育、学習支援業	9	7%	8	6%	15	11%
医療、福祉	1	1%	4	3%	2	1%
複合サービス事業	0	0%	0	0%	0	0%
サービス業	6	5%	8	6%	3	2%
公務	16	12%	20	16%	25	18%
その他	1	1%	0	0%	0	0%
計	133	100%	124	100%	140	100%

# 卒業後の進路 院生



## 現在のご研究について教えてください。

現在は大阪公立大学大学院/文学研究科/人間行動学専攻/教育学専修の研究室に所属しています。私は、今日の学校教育における中心的テーマとなっている「学び」の言説を批判的に問い返すための研究を行っています。具体的には、教育を巡る議論を1980年代頃まで遡り、そのなかでも当時広範に用いられた「学習」という言葉にスポットを当て、この言葉が当時どのような意味合いで語られたのかを明らかにするための分析を進めています。

## 文学部に入学した理由を教えてください。

ここで「〇〇が学びたかったから！」とか、「△△の研究をしたかったから！」というようなことを胸を張って言えたらよかったのですが...何を隠そう、私が本学(大阪市立大学)文学部に入学したのは、「数学が苦手だったから」というネガティブな理由からです。入学してから学びたいことも特になく、ただ偏差値の高い大学、その中でも数学の重要度が比較的低い学部、というふうに本学文学部を選びました。

□お名前：R. Y

□卒業年度：2023年度

□在学時の所属コース：教育学

□趣味：読書

## 文学部での学びと現在のご研究との つながりについて教えてください。

ネガティブな理由で入学し、当初学びたいことなど何もなかった私が大学院に進学しました。それだけで学部の学びと現在との繋がりを理解してもらえるでしょう。

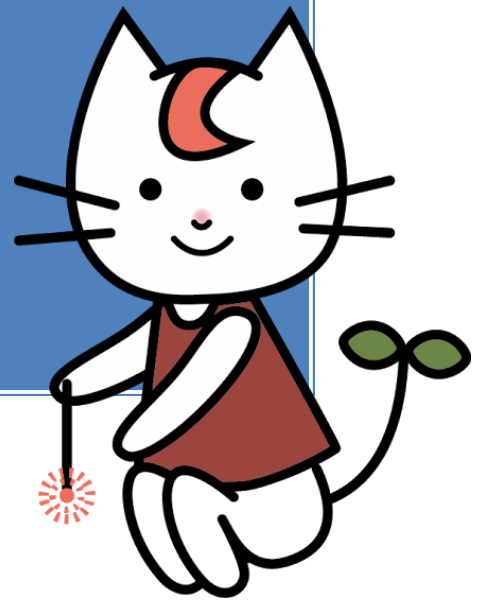
“文”章に限らず、絵画や音楽、更には文化体系までを含む人の“文（あや）”を学問的に扱うのが文学部だと私は解釈しています。日常的にありふれた事物を極めて多様な視座から（私の場合は教育学という視座です）探究し得るという実感は、私の「知りたい欲」に火をつけました。それが院進学、そして現在の日々の原動力であるように思います。

## 受験生へメッセージをお願いします！

“よい大学”を目指すことは否定しません。ただし、どの進学先であれ、そこで自分が熱中できるものと出会うこと、即ち選んだ道を自分にとって正解だったと思えるようにすることも、同様に大切です。大学進学を、進学後の自分の在り方まで含めて、是非広い視野で捉えてみて欲しいと思います。



# 卒業後の進路 院生



## 現在のご研究について教えてください。

同じ大学の文学研究科に進学し、同じ研究室に所属しています。専門は中世の仏教説話集で、特に鎌倉時代の僧侶・無住の著作を対象としています。このテーマも、国語国文学コース在籍時の卒業論文と共通しています。

修士1回生ではほとんど毎日授業があり、そこで課題の作品を読み込み、議論を重ねています。学部の頃よりも専門的な理解が求められるので、勉強の量も質も上がりますが、その分新たな気づきを得られるので、やりがいも増しました。

## 文学部に入学した理由を教えてください。

高校時代から日本語に関することを学びたいと考えていたので、それができるところ、かつ、多彩なコースがあることも魅力的で、この大学を選びました。当初から国語国文学コースと決めていたので、選択肢が増えることよりも、他コースの学生と多角的な意見交換ができるという点に期待していました。

さらに、大学の周辺地域に密着した研究が多いというのも特色と考えました。大阪府出身者として、地元に関ざした学問を志向していましたが、むしろ府外の方にも関心を惹かれるものがあると思います。



□お名前：K

□卒業年度：2024年度

□在学時の所属コース：国語国文学

□趣味：フライヤー収集

## 文学部での学びと現在のご研究との つながりについて教えてください。

国語国文学コースに在籍していた三年間で学んだことが、今の勉強の礎になっています。授業を通して様々な作品や言葉に触れましたが、それらを深めることが楽しく感じていたので、さらに学びたいと考えて進学しました。

基本的に学部での調査・発表方法を踏襲して進めています。その中で、多くの文献を見、何度も議論を経験することで、学部生の頃にはよくわかっていなかった調査方法の意義を理解できたり、発表をより伝わりやすいように工夫できたりと、日々成長を実感しています。

## 受験生へメッセージをお願いします！

興味関心が明確な人も、そうでない人も、大学に入ると、きっと一気に視野が広がります。私も想定外のことは多かったですが、楽しく有意義な大学生活でした。受験勉強の傍ら、新しい環境や学問や人との出会いにぜひ期待してほしいです。

# 卒業後の進路 民間



## 現在のお仕事について教えてください。

大学の入試広報や、教育内容、経営支援など幅広くサポートする企業に就職しました。私の所属部署では、入試本番の出願や決済システムの制作・運用を担っています(みなさんもどこかで使った/使うかも！)。依頼元の大学や、プログラム開発をするベンダーの担当者さんたちといっしょに、どうすればユーザーが使いやすい形にシステムをデザインできるかを日々議論しています。関係者みんなの意見や要望を丁寧に拾い上げ、制作の実現可能性を考えながら、うまく調整していくのが大事なお仕事です！

## 文学部に入学した理由を教えてください。

人文学を幅広く取り扱っており、大学での学びを知ってから自分の行きたいコースを選べるからです！実は、高校入学当初は薬剤師を目指していました。しかし、当時の自分の成績(数学が苦手)や、薬剤師の仕事内容の中でも特に、患者さんが安心するようなコミュニケーションという側面に興味を持っていたことから、大学時代に社会心理学を専攻していた母親にアドバイスをもらい、「人との関わり」を学びたいと考えるようになりました。そこから芸術、歴史学、教育学...とどんどん関心が広がり、もうここしかないな！と心に決めました。

□お名前：ぼり

□卒業年度：2025年度

□在学時の所属コース：教育学

□趣味：ちい活（ちいかわの推し活）  
オーケストラ

**文学部での学びと現在のお仕事との  
つながいについて教えてください。**

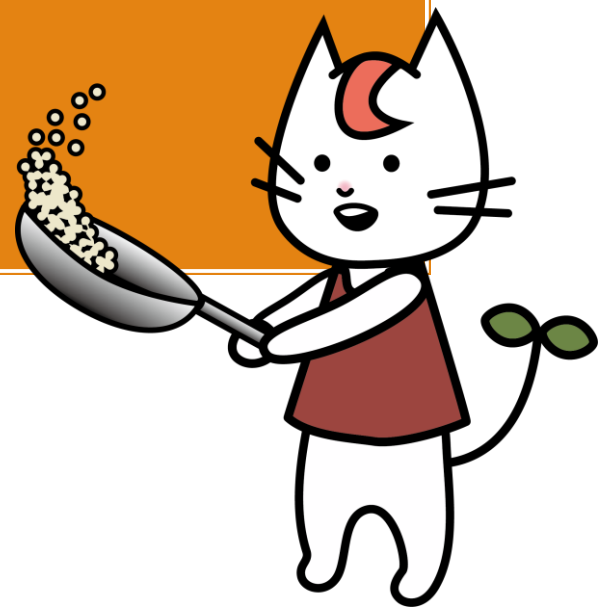
過去のオープンキャンパスなど、支援機構(※)の企画・運営や卒業論文を通して、公立大文学部の学びだけでなく、大学という場所が大好きになったのがスタートだと思います。大学は学術機関であるだけでなく、課外活動なども通してたくさんの人たちと出会い、勉強的にも人間的にも成長できるステキな場所だなと学びました。「進学希望の皆さんがそうした経験を得られるように、個人に合った大学を選ぶサポートができたらいいな」という私の思いを直接仕事に繋げられるんだ！とそれなりに誇っています。

(※)大阪公立大学 文学部・文学研究科 教育促進支援機構

**受験生へメッセージをお願いします！**

受験生の間はたくさん自分と向き合う時間になると思います。やりたいことに向かって突き進むもヨシ！回り道しながら迷い考えるのもヨシ！休みの日はたっぷり休んで、少しでも前を向いて頑張れるように応援しています♪

# 卒業後の進路 民間



## 現在のお仕事について教えてください。

PR会社という、広報の代理店で働いています。PRはできることが非常に幅広いので一概に説明できないのですが、私が担当しているのは、企業のリリースや発表会をメディアの方にプロモートして記事掲載に繋げたり、実際に発表会に行ってメディア目線で現場対応したりする仕事です。普段行けないような場所、見られない情報などに触れられて、いろんな経験ができるのが面白いと感じています。

## 文学部に入学した理由を教えてください。

高校生の時は人間の行動原理などに興味があり社会学を学びたいと思いながらも、しっかり学んでいないのに想像だけで専門分野を決めてしまうことに不安もありました。そんな中、ここなら2年生からコースを選べると知り、「入ってみたら思っていたのと違う」を防げると思い入学を決めました。



□お名前：Y. N

□卒業年度：2024年度

□在学時の所属コース：社会学

□趣味：ドラマ、映画、ライブ

## 文学部での学びと現在のお仕事との つながりについて教えてください。

4年生ではメディア社会学を学んでいたもので、メディア対応には直接役立っているのかもしれませんが、でもそこにあまり実感はなく、どちらかというと単純に卒論のテーマが社内外問わず話題に使えたりもしているのが、ちゃんと勉強してよかったと思うポイントです！また現代において身につけておくべき良識も、社会学を通して身についたのではと思っています。

## 受験生へメッセージをお願いします！

社会人になると、本当にいろんな生き方があるなと実感します。ずっと同じ会社にいる人、全く違う業種に転職する人、大学に入り直す人、などいろいろです。思い詰めすぎず、楽しんでやるくらいの気概でもいいのかもしれない。応援しています！

# 卒業後の進路 公務員



## 現在のお仕事について教えてください。

障害のある方たちが地域で安心して暮らしていけるように、専門職、学識経験者、当事者、家族など、様々な方たちからご意見をいただきながら、施策を進める業務に携わっています。事務職として、会議や研修の開催、業務委託に関わるお仕事などを日々行っているのですが、障害福祉の分野には今まで馴染みがなかったもので、慣れない専門用語や概念に四苦八苦ししながら周りの方たちの支えのもとなんとかやっています。

## 文学部に入学した理由を教えてください。

1回生のときに様々な科目を履修した上で、2回生からのコースを選択できることが魅力的だったからです。大学のことを調べても漠然としか理解できず、自分が何をしたいのか分からなかったのでありがたい制度でした。入学時点では他のコースを希望していましたが、授業内容や先生方に惹かれてこのコースに入ったおかげで充実した4年間で過ごすことができたと感じています。余談ですが、先日行った万博でスタッフさんとフランス語で少しお話ができたのが嬉しかったです。

□お名前：Y

□卒業年度：2018年度

□在学時の所属コース：フランス語圏言文化

□趣味：ピアノ、ダンス

## 文学部での学びと現在のお仕事との つながいについて教えてください。

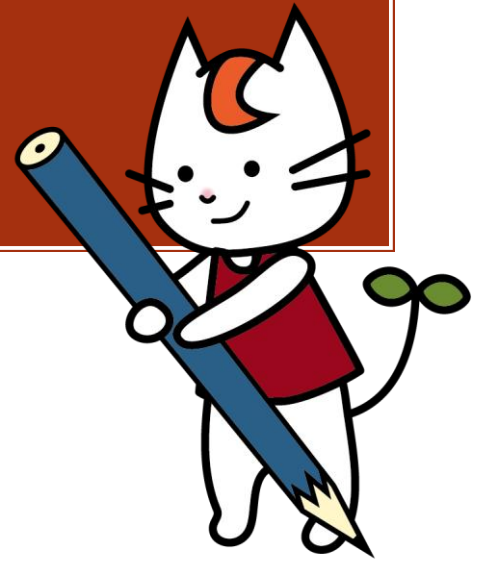
事務職にはよくあることかもしれませんが、大学での学びが業務に直結すると言うよりは、今の自分の基礎となる部分を学ぶことができたと思っています。例えば会議録ひとつ作るにあたって、単語が本来持つ意味に加えて、発言者の意図や感情などを汲みながら文字に落とし込む必要があります。大学の授業で安易に「日本人やから宗教の重みが分かん」と書いてしまい教授にご指摘いただいた経験や、グループワークからの些細な気づきの積み重ねが、このような日常業務においても活かされていると感じます。

## 受験生へメッセージをお願いします！

「あの時が人生の分岐点だった」と思っていた出来事も、何年もすると「どちらの道を選んでいてもここに辿り着いていたかもな」と思うことがあります。受験は確かにひとつのターニングポイントではありますが、気負い過ぎず楽しんで、でも侮らず積み上げていければ良いのかなと思っています。それが難しいんですけどね笑 応援しています。



# 卒業後の進路 教員



## 現在のお仕事について教えてください。

大阪市立中学校の社会科教員として働いています。大阪  
市教育委員会で昨年度より新設された特別専科教諭として  
配置されました。第2学年を担当しており、副担任として  
学年所属しています。部活動は吹奏楽部を担当しており、  
主担の先生がおられるため、副顧問のような立場で関わら  
せていただいています。まだまだ仕事量は多くないですが、  
日々、社会科の授業をしたり、分掌の仕事や副担任として  
の仕事、部活の仕事などさまざまなことをしています。

## 文学部に入学した理由を教えてください。

教員になりたいと考えていたので、教育学コースのある  
文学部に入学しました。教育大学を受験することも一度は  
考えましたが、教員になる人が教育大学に比べて少ない総  
合大学である、大阪市立大学文学部を選択しました。その  
理由は、さまざまな道を志す人がいる中で学んだ方が、よ  
り多様な価値観に触れることができ、教員になったときに  
活きるのではないかと考えたからです。

- お名前：K.Y
- 卒業年度：2024年度
- 在学時の所属コース：教育学
- 趣味：音楽、読書、映画

## 文学部での学びと現在のお仕事との つながりについて教えてください。

現場には多様な状況が広がっているので、この科目が直接こう繋がっていると言い切れませんが、自分の教育観の基礎を作ったという意味で、教職科目や教育学コースの専門科目は間接的につながっていることが多いと思います。また、学校教育に直接関係のない科目も思わぬところで授業づくりのヒントになったり、多様な子どもの対応のヒントになったりすることが多く、それこそ総合大学ならではの学びであり、今の仕事に繋がっていると感じます。

## 受験生へメッセージをお願いします！

多様な価値観を持つ人々との出会いや、専門外の分野にも挑戦できる環境が整っています。自分の価値観を広げつつ、深く考えるべき課題を学び、新たな視点を養える場です。将来に繋がる確かな学びができる大阪公立大学文学部で、ぜひ学んでください。